

＼ 10分で解説 ／

インシデント・プロセス法

— 事例研究会 —

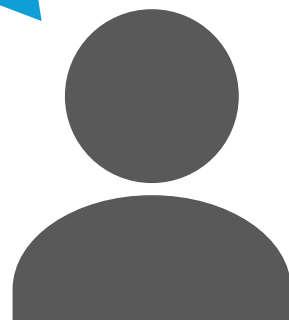


特 徴

- 資料の準備不要、ホワイトボードを活用
- ルールを守って、安全・安心な話し合い
- みんなで協力して「できそうなこと」を考える

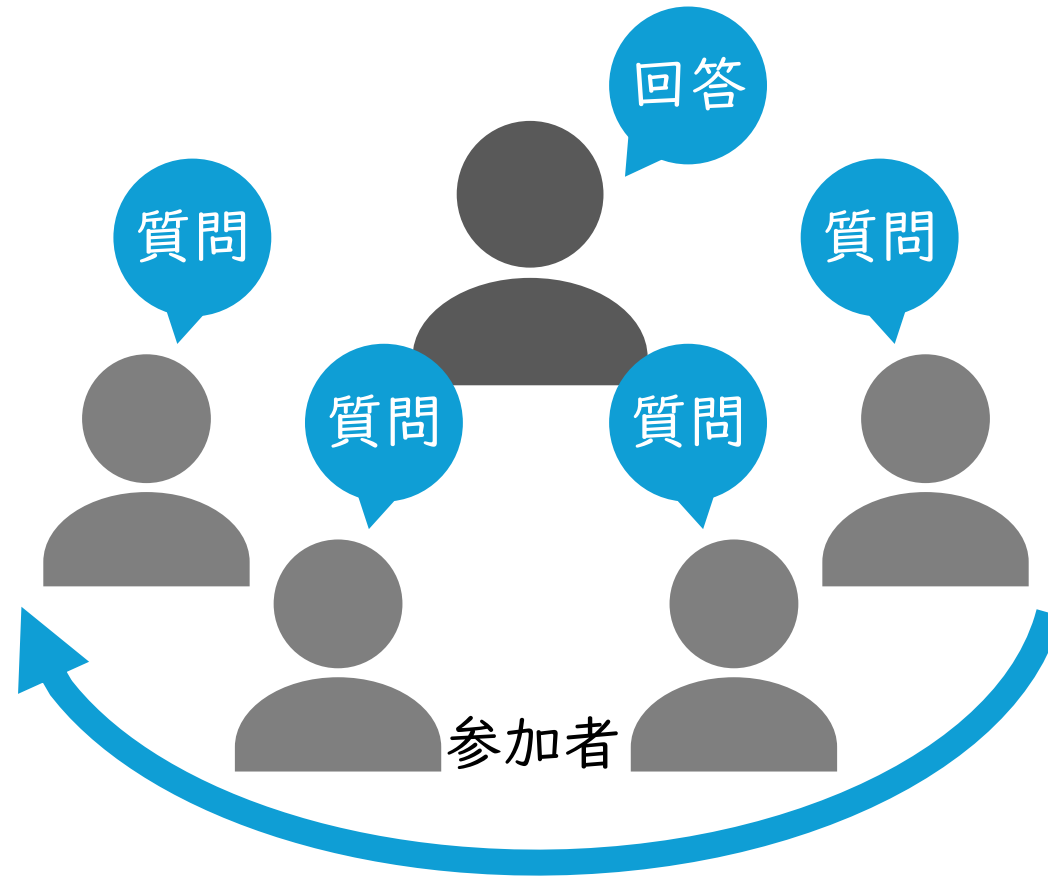
ざっくり

インシデント・プロセス法とは



事例提供者

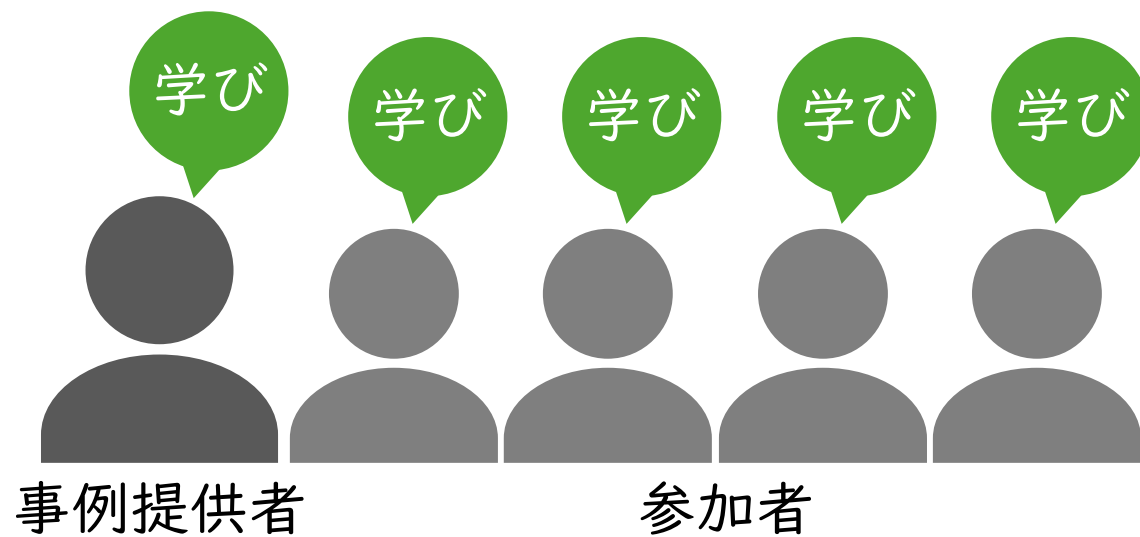
事例提供者が出来事を説明する



参加者が質問し、事例への理解を深める



参加者が支援策を考え、提案する



各自が学んだことを整理する

役割

児童生徒の
出来事や困りごとを
提示する



事例提供者

ファシリテーター

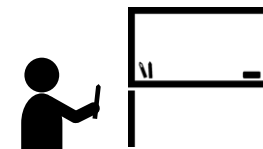


進行と時間管理

ホワイトボード

ホワイトボードに記入

記録係



参加者



質問
支援策の提案

ホワイトボードの使い方

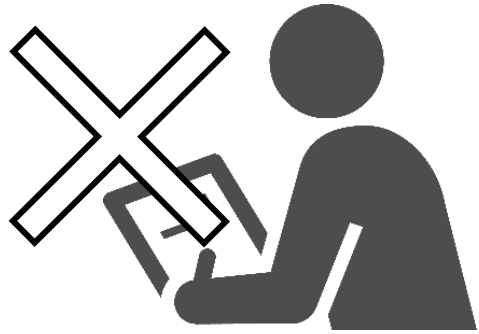
氏名	目標(課題)
児童生徒の情報	支援策
	・〇〇する ・〇〇を準備する ・保護者と〇〇 ・ ・ ・

キーワード中心で
記入してください

支援策は青色

事例提供者が
選択したものを
赤色にする

ルール(約束事)



メモを取らない



批判・否定はしない



発言はコンパクト
にする



積極的に発言する
「パス」もOK

進め方(45分)

事例の提示
5分



①

情報収集
15分



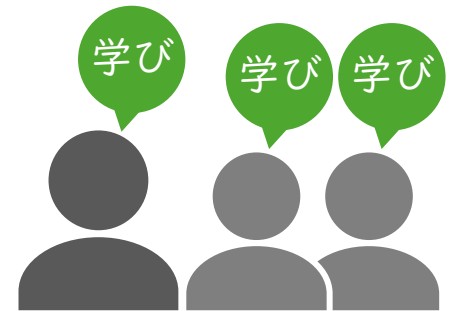
②

支援策の提案
15分



③

まとめ
10分



④

情報収集のポイント

「いつから？」

「本人は何と言ってる？」

「どのくらい？」

「好きなことは？」

「学習面はどうですか？」

「得意なことは？」

「家庭での様子は？」

△「どうして？」

それを探るために、事実について質問する

「友だちはいますか？」

△「学習と家庭の状況は？」

「先生との関係は？」

複数のことを質問している

支援策のポイント

- ✧ 「明日からできそう」「試してみたい」という小さなこと
- ✧ 「～しない」ではなく、「～する」「～してみる」で提案
- ✧ 質より量（提案に対して良し悪しの評価をしない）
- ✧ 「学校で何ができるか」という視点

質問は ありますか？

本資料ダウンロード



<https://www.psycla.com>